

シルクロードの古跡に立つ

～ 楼蘭・敦煌を中心として ～

シルクロードは悠久 2000 年の文化交流の道です。長安からローマまでの 12000 キロの旅の中で、とくに注目すべきは楼蘭と敦煌です。私は楼蘭には 3 回踏査し、敦煌には 20 余回訪ねました。現地での調査結果をふまえ、最新の研究成果をもとに、その文化と歴史を分かりやすく解説します。



第1回 6月5日(木曜日)
シルクロードの昔と今と未来



第2回 7月31日(木曜日)
海外26カ国67回、西域研究の変遷をたどる



第3回 8月7日(木曜日)
仏教芸術の精華、敦煌の魅力



第4回 9月4日(木曜日)
楼蘭王国の古跡に立つ



講師 山田 勝久さん(大阪教育大学 名誉教授・橿原市観光大使)

会場 大阪府立中央図書館2階多目的室(東大阪市荒本北1-2-1)

定員 各回70名(事前一括申込、多数抽選、受講料無料)

時間 各回14時～15時30分(開場13時30分)

【講師紹介】

1943年 愛知県生まれ。北海道教育大学教授。大阪教育大学教授・学長補佐・附属池田中学・高校併任校長。私立大学副学長・理事・教授・客員教授を歴任。楼蘭王国の陵墓の壁画の調査、その他、パルミラやサマルカンドやネパールなどの遺跡を踏査。西域を中心として26カ国67回を旅する。著書に『唐代散文選』、『唐代文学の研究』、『唐詩の光彩』、『シルクロードの光彩』、『シルクロード悠久の天地』(笠間書院)、『パルミラの光彩』(雄山閣)など多数。

※ 申込方法は、裏面をご覧ください。